

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑨

東国分中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第9回検討委員会回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和3年10月15日(金) 17時00分～18時00分
- 2 会 場 市川市立東国分中学校
- 3 構 成 ・委員長：大学教授
(19名) ・委員：各学校(東国分中・曾谷小・稲越小)の学校運営協議会代表
- 4 内 容 ・第2～6回プロジェクト会議、グランドデザイン、新しい教科、3校で実施した取り組みの報告を行いました。

5 報告内容

※紙面の都合上、資料・アンケート結果等は概要を記載しておりますので、詳しくは市公式WEBサイトに掲載の東国分中学校ブロック、第9回検討委員会の「会議資料」「別冊資料」等をご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

(1) 第2～6回プロジェクト会議について

小中一貫教育を推進するための具体的な取り組みや指導計画・教育課程等の検討を行うため、各学校の校長、教頭、教務主任と教育委員会の担当で構成する「東国分爽風学園プロジェクト会議」を設置しました。6月から9月に第2回～第6回プロジェクト会議を開催しました。検討してきた内容については、以下の(2)検討内容で概要を紹介します。

(2) 検討内容について

①グランドデザインについて

プロジェクト会議にて、東国分爽風学園の基本計画にある学園目標、めざす学園像、めざす子ども像、めざす教職員像から、東国分爽風学園で目指す方向性の重点を、

- 1 生徒指導 2 学校・地域交流連携活動 3 学力向上 4 特別支援教育

の4つの柱として整理しました。

※東国分爽風学園グランドデザインは、第5回プロジェクト会議だよりにてお知らせしております。

また、3校の各ホームページにも掲載されております。

②新しい教科について

グランドデザインの4つの柱の1つ「学力向上」の中の「新たな教科の設置」の具体的な取り組みとして、プロジェクト会議にて、新たな教科についての検討を行ってきました。現段階で話し合われた内容は、以下の通りです。

<p>教科名</p>	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">「ふるさと探究科」 ～帰ってきたいふるさとを目指して～(SDGsを意識した探究学習を通して)</p> </div> <p>地域との交流の大切さを「ふるさと」で表し、また目指す子ども像にある「主体的に考え、学び伸びる。」の実現には「探究」的な学習が重要であるため、新しい教科の名称は「ふるさと探究科」とし、併せてSDGsを意識した学習を行うこととしました。この活動を通して、「この地域は、帰ってきたいふるさとだ」と思う子供に育つことを願っています。</p>
<p>授業時間</p>	<p>「総合的な学習の時間」の目標と、ふるさと探究科の目標が合致するため、総合的な学習の時間の授業時間をベースとすることとしました。今後、3校の先生方で話し合い、具体的な内容や進め方等を検討していきます。</p>

(3) 3校で実施した取り組みについて

① 3校合同のオンライン集会の実施

7月20日(火)に3校をオンラインでつなぎ、各校の校長先生や生徒指導担当の先生が児童生徒に「夏休みの過ごし方」を話しました。

② 3校合同の学校図書館活用オンライン研修

9月1日(水)に、3校の教職員をオンラインでつなぎ、学校図書館研修会を実施しました。

③ 曾谷小学校と稲越小学校で実施した取り組み

夏休み、7月26日～29日に国分高校の生徒たちが、曾谷小や稲越小の子供たちの勉強をサポートする取り組みが行われました。実施後のアンケートでは、両小学校の子供たちの約7割が「楽しかった」「しっかり勉強できた」と答えていました。

④ 中学校の教員による、小学校への乗り入れ授業の実施

東国分中の数学科の先生が、曾谷小、稲越小の6年生に、算数の「比例と反比例」の授業を行います。(10月～12月に実施。次回の検討委員会で報告いたします。)

(4) 委員からの意見等 (○：委員長及び委員 ●：事務局)

- この検討委員会の結果は、毎月の自治会の理事会で報告しています。また地域の広報紙でも周知しております。東国分爽風学園についてもようやく認知してくれるようになってきました。ふるさと探究科、オンライン集会は、画期的なので、次回自治会で報告していきたいと思います。また、これからも東国分爽風学園の取り組みをあたたく見守っていききたいと思います。
- 東国分爽風学園のグランドデザインも良い形でできあがり、ワクワクしながらお話を聞かせて頂きました。市川市は、昔からコミュニティスクールやナーチャリングなど地域で子供を育てることが定着していて、他県から視察に来る市でした。今も地域で子供を育てることが着々と進んでいると思います。地域で子供を育てることで、一番大切なことは、みんなが顔見知りになることだと思います。グランドデザインの4つの柱にあることは、地域も一緒に何かできるのではないかと思います。
- 子供たちのためにお忙しい中、時間を割いて、すばらしいグランドデザインを考えて頂き、ありがとうございます。クリアしなければならぬ課題はたくさんあると思いますが、子供たちが東国分爽風学園で過ごす時間が、未来へつなげるかけがえのない時間であればと思います。PTAとしても協力していきたいと思いますので、何かある際は、お声がけください。
- 9月からタブレットが配付されましたが、子供たちの吸収する力はすごいと思いました。新しい取り組みに興味をもって取り組めることは、学力向上につながると思います。先生方の声かけで、子供は変わると思います。これからも学校と家庭と地域、みんな一緒が大切だと思いますので、PTAとしてもできることをしていきたいと思います。
- 各校の交流を、この委員会で直接各学校に行き、参観などで様子を実際見たいです。子供たちの取り組みや先生方の苦労を、実際に見せて頂ければと思います。もう1点は、いじめの問題について、こんな良い学校なので、いじめなどはないという心構えで子供たちに向かって頂ければと期待しています。
- 3校の保護者の方も交流が始まった時に、委員会の交流等を検討して頂きたいと思います。いじめについては、今後プロジェクト会議の各部会で検討して頂き、見える化して頂ければと思います。
- 夏休みに高校生と関わったこと、とても印象的でした。実施して頂きありがとうございます。
- 稲越小の夏休みの学習に地域の方も合計30名が参加しました。感想は、交流ができてよかったです。来年も参加したいなどでした。地域のパイプ役として、これからも努力していきたいと思いました。また、稲越小では、「ぼかぼかグループ」という縦割りのグループがあります。その絆が深められ、稲越小、東国分中、曾谷小に良い形でつながればと思います。
- 新しい教科、「ふるさと探究科」ができることが、とても楽しみだと思いました。自分の感想ですが、小学校は、先生が一人ですが、中学校はいろいろな先生とのかかわりが増えます。教科を限定しない、「ふるさと」は、理科や社会などいろいろな教科のかかわりがあるので、楽しく学習できる時間が増えると思いました。
- 子供たちの意識が足元のふるさとに向くことが増えると思いました。地域から見れば、毎日子供が楽しく過ごしていければと思います。自治会でも親子クッキングスクールをオンラインで行いました。多くの応募者があり、子供たちもとても楽しみにしていました。そういう活動が、地域で行われております。これからも地域交流をどんどん進めていければと思います。